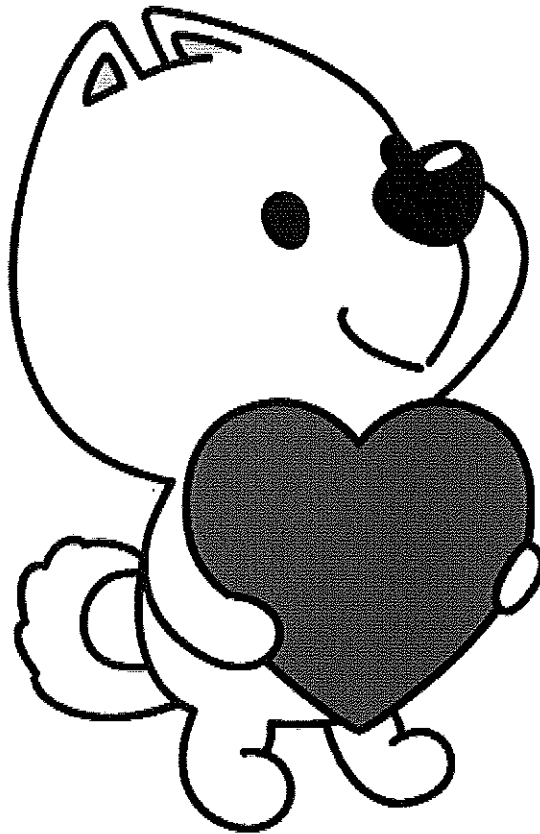


和歌山県精神保健福祉センター所報

平成23年度



2015年 紀の国わかやま国体マスコット

きいちゃん

和歌山県精神保健福祉センター

はじめに

ここに、平成23年度版和歌山県精神保健福祉センター所報をお届けいたします。本所報には、平成23年度に和歌山県精神保健福祉センターが実施した事業の実績がまとめられています。関係者の皆様にご一読をいただき、ご助言をいただければ幸いです。

今年度は前年度末に発生した東日本大震災の被災地である岩手県釜石市への和歌山県こころのケアチームの派遣、平成23年9月の台風12号に関連した精神保健活動など、災害関連の精神保健福祉が大きなテーマになりました。本県においても、東南海地震や南海地震に備えた総合的な支援体制の確立が求められており、今年度の災害支援活動の経験も踏まえ、災害時の精神保健福祉活動に対して、精神保健福祉センターとしても、さらなる努力を続けていきたいと思っています。

平成21年度からスタートした自殺対策情報センター事業とひきこもり地域支援センター事業については、多くの関係機関や民間支援団体などのご協力をいただき、地域の支援ネットワークの整備を積極的に進めてきました。特に、民間支援団体の活躍は目を見張るものがあり、重要な精神保健福祉のリソースにまで成長しつつあります。官民の垣根を越えた、包括的なネットワークは、自殺やひきこもりの予防・支援だけでなく、広く県民の精神保健福祉の向上に寄与することも期待され、今後もなお一層の連携・協力を進めて行きたいと思えます。

精神保健福祉センターの担うべき役割と責任は幅広く、さらには社会的な変動や災害・事件などに関連した新たな課題にも適切に対応することが求められます。精神保健福祉センターに求められる多様な役割を果たすべく、職員一同で研鑽を積んでいく所存でございますので、今後とも皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願いいたします。

平成24年12月

和歌山県精神保健福祉センター

所長 小野 善郎

目 次

I センターの概要

1. 沿革	-----	1
2. 業務の概要	-----	1
3. 職種別職員構成	-----	2
4. 施設の概要	-----	2

II 平成23年度 事業実績

1. 技術指導・技術援助	-----	3
2. 教育研修	-----	5
3. 普及啓発	-----	6
4. その他の事業	-----	8
5. 自殺対策情報センター事業	-----	9
6. ひきこもり地域支援センター事業	-----	11
7. こころのレスキュー隊事業	-----	13
8. 災害時のこころのケア活動事業	-----	14
9. 精神保健福祉相談	-----	15
10. 医療・福祉関係事務		
(表1) 精神医療審査会の審査に関する事務	-----	17
(表2) 精神障害者保健福祉手帳所持者数	-----	18
(表3) 精神障害者福祉手帳交付者数	-----	18
(表4) 自立支援医療(精神通院)受給者証交付状況	-----	19

III 添付資料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧	-----	20
--------------------	-------	----

I 和歌山県精神保健福祉センターの概要

- 1 沿革
- 2 業務の概要
- 3 職種別職員構成
- 4 施設の概要

I センターの概要

1 沿革

精神保健福祉センターは、精神保健福祉法に基づいて、都道府県における精神保健及び精神障害者の福祉に関する総合的技術センターとして、知識の普及を図り、調査研究並びに相談業務を行い、精神保健福祉の関係機関に対する技術指導・技術援助を行うものである。

昭和39年11月 「精神衛生相談所」を和歌山県立医科大学附属病院内設置

昭和56年 4月 「精神衛生センター」に名称変更 和歌山県立五稜病院に移転

昭和63年 7月 「精神保健センター」に名称変更

平成 7年 7月 「精神保健福祉センター」に名称変更

平成10年12月 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛に移転

2 業務の概要

(1) 企画立案

地域精神保健を推進するため、県の精神保健福祉主管部局及び関係機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進や、地域の精神保健施策の推進に関する事項等について提案、意見具申等を行う。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町村等の関係機関に対し、専門的立場から積極的な技術指導及び技術援助を行う。

(3) 教育研修

保健所、市町村等の関係機関で精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、その資質の向上を図るため、専門的な教育・研修を実施する。

(4) 普及啓発

一般住民に対し精神保健福祉や精神障害についての知識、権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び市町村が行う普及啓発活動に対して協力、指導及び援助を行う。

(5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進、精神障害者の社会復帰の促進等に関する調査研究を行い、必要な統計及び資料を収集し、保健所や市町村が行う精神保健福祉活動が効果的に展開できるよう資料を提供する。

(6) 精神保健福祉相談

自死遺族ケア、ひきこもりをはじめとする思春期の特定相談を含め、精神保健福祉全般の相談（特に複雑または困難なもの）を実施する。

(7) 組織育成

家族会、患者会等県単位の組織の育成に努めるとともに、地域単位の組織の活動に協力する。

(8) 精神医療審査会

入院中の者等からの退院請求や処遇請求に対する調査・審査を実施し、患者の適正医療と人権の確保を図っている。

(9)精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院医療)の判定及び交付・承認事務

精神障害のため、日常生活又は社会生活に支障のある方を対象に、医療や福祉の支援を受けやすくすることを目的とした「精神保健福祉手帳」の判定・交付事務を行っている。

精神障害者の通院医療を促進し、早期治療・早期退院・再発防止等適正な医療の普及を図るため、通院医療に要する費用について公費負担制度を実施しており、それに伴う判定・承認等の業務を実施している。

3 職種別職員構成

H24. 3. 31時点

	医師	精神保健福祉 相談員	保健師	福祉職	事務職	計
常勤	1	1	2	2	2	8
非常勤	4			1	1	6
計	5	1	2	3	3	14

4 施設の概要

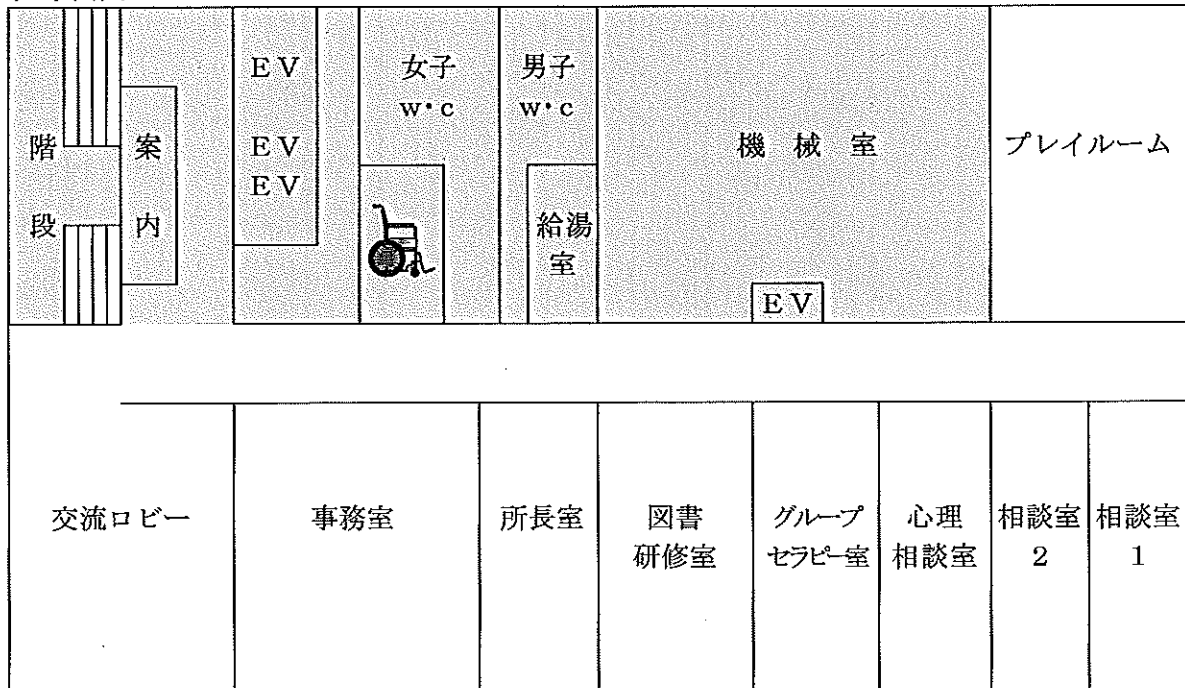
(1) 所在地

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階
 電話 073-435-5194
 FAX 073-435-5193

(2) 建物の状況

12階建て鉄筋コンクリート造り県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階に入居
 占有面積 372.66㎡

(3) 平面図



*EV:エレベーター

Ⅱ 平成23年度 事業実績

- 1 技術指導・技術援助
- 2 教育研修
- 3 普及啓発
- 4 その他の事業
- 5 自殺対策情報センター事業
- 6 ひきこもり地域支援センター事業
- 7 こころのレスキュー隊事業
- 8 精神保健福祉相談
- 9 医療・福祉関係事務

II 平成23年度 事業実績

1 技術指導・技術援助

地域精神保健活動を推進するため、保健所及び関係機関に対し、研修会の講師や会議での助言等の技術指導及び技術援助を行った。

(1) 関係機関別・内容別件数

関係機関に対して精神保健福祉に関する技術指導・援助及び組織育成を行った（講演除く）。

関係機関	技術指導・援助の内容別件数(延件数)									
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	その他	計
保健所						4	1	1	1	7
市町村						7	7	2		16
福祉事務所										0
医療施設					5			2		7
介護老人保健施設										0
社会復帰施設			2							2
社会福祉施設							1			1
その他						5	4	1		10
計	0	0	2	0	5	16	13	6	1	43

組織育成

	対象					
	患者会	家族会	断酒会	職親会	その他	計
支援件数	0	6	0	0	7	13

(2) 業務別支援内容等 会議等

内 容	出席回数
自立支援協議会	3
相談ネットワーク和歌山担当者会議	1
医療観察法ケース会議	10
医療観察制度運営連絡協議会	1
平成23年度薬物中毒対策連絡協議会	1
和歌山県犯罪被害者支援連絡協議会	1
支援困難事例検討会議	2
法テラス和歌山地方協議会	1
和歌山市要保護児童対策地域協議会	1
法テラス和歌山地方協議会	2

(3) 委嘱・委員等

内 容	会議への出席回数
障害者社会参加推進協議会委員	1
精神障害者雇用支援連絡協議会委員	2
社会福祉審議会児童福祉専門分科会文化財部会委員	8
和歌山県立医科大学付属病院こころの委員会委員	1
メンタルヘルス対策支援センター業務運営協議会委員	1
地域若者サポートステーションの運営に係る企画書評価委員会	1
若者自立支援に事業企画書評価委員会	1
ひきこもり地域支援センター連絡協議会役員会	2

(4) 講演講師等

内 容	対 象	主 催
「子どもの心の成長と起こりやすいトラブルについて～将来を見据えて、今、親が気をつけてあげたいこと～」	保護者	北海道空知郡富良野町
「小児期からのトラブルと学校・幼稚園・保育所で関わり方～子どもの抱えるストレスの理解と対応について～」	保健・医療・福祉・教育関係者等	北海道空知郡富良野町
「児童相談所における子どもと家族への支援」	児童相談所に勤務する医師	子どもの虹情報研修センター
「保健師のストレス対処法」	保健師	市町村保健師協議会新宮支部
シンポジウム「虐待があたえる子どもの育ちと発達への影響」	関係専門職員、一般	日本司法精神医学会
「困難事例への相談対応」	労働局職員	和歌山労働局
「教育現場（福祉現場）で役立つ児童青年精神医学の基礎知識」	医師、教員、福祉関係者	福岡市学校精神保健協議会
シンポジウム「何故、日本の若者はひきこもるのかー和歌山からの提言ー」	精神医療・地域保健福祉関係者等	多文化間精神保健医学会学術総会
シンポジウム「命を支えるこころのケア」	看護協会員等	和歌山県看護協会
「子どもの福祉とメンタルヘルス」	児童福祉施設・児童相談所 基幹職員	岡山県、岡山市
「こころの健康づくり」	作業所あい職員	和歌山市
「ひきこもりについて ーアプローチの実際からー」	管内保健師、PSW、地域保健福祉関係職員等	海南・海草保健福祉検討会
子どもの福祉と精神保健	県内児童福祉施設職員	和歌山県児童福祉施設連絡協議会
「ひきこもりの理解と地域における対応について」	精神保健・福祉、教育関係者等	福岡県精神保健福祉センター

(5) 学会発表

内 容	対 象	主 催
「ひきこもりの問題を抱える家族の支援」	地域保健従事者等	全国精神保健福祉センター研究協議会

2 教育研修

保健所、市町村、社会復帰施設、精神科医療機関、その他の関係機関で、精神保健福祉業務に従事する職員等を対象として、その資質向上を図るために精神保健福祉に関する専門的な研修を実施した。

(1) 精神保健福祉関連新任者研修

新しく精神保健福祉業務に従事した者が、精神保健福祉に関する基礎知識を学び、業務に活かしていくことを目的に、業務に従事して概ね5年以内の担当者を対象に2日間にわたり実施した。

※敬称略

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
第1日目 平成23年6月21日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「精神疾患と精神障害の理解」 講師 精神保健福祉センター 所長 小野 善郎 講義 「相談の受け方」 講師 心療オフィス 上野和久	46名
第2日目 平成23年6月22日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「障害福祉サービスについて」 講師 新宮保健所 副主査 山下 眞史 講義 「精神障害者と人権」 講師 財団法人 信貴山病院ハートランドしぎさん 看護部長 大谷 須美子	45名

(2) 精神保健福祉従事者専門研修

精神保健福祉業務に従事する職員の技量を高め、精神保健福祉サービスの向上を図ることを目的に、業務に従事して概ね3年以上の担当者を対象に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
平成24年1月24日 ビッグ愛 (和歌山市)	「パーソナリティ障害への理解と対応について」 講師 神戸大学附属病院精神科 精神科医 田中究氏	70名
平成24年3月3日 ビッグ愛 (和歌山市)	「摂食障害を知る ～当時者、援助者、社会学者の視点から～」 講師 野村佳絵子 氏	20名
平成24年2月24日 湯浅保健所 (有田郡湯浅町)	「女性のメンタルヘルス ～うつ病の理解と治療を中心に～」 講師 国保野上厚生総合病院 精神科医 坂本友香 氏	30名

(3) 思春期セミナー研修

教育、行政、医療、福祉施設職員等の資質向上をはかることを目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
平成23年8月11日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「虐待・非行・発達障害 －困難を抱える子どもへの理解と対応－」 講師 土井ホーム 土井高德 先生	54名

※自殺対策、ひきこもり、こころのレスキュー隊関連事業の研修については、後章に掲載する。

3 普及啓発

一般県民や関係機関に対し、精神保健福祉や精神障害についての知識や情報を提供するために、以下のとおり講演会や出版物の作成等、普及啓発を行った。

(1)講演会

こころの健康講座

地域住民がこころの健康について関心を持ち、自らこころの健康増進を図るための知識の普及を目的に開催した。

開催日・会場	テーマ・講師	参加者数
平成23年9月24日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講演&ギター演奏 「生きづらさに効く、生きるコツ」 講師 こわれ者の祭典 代表 月乃 光司 氏 ギター演奏者 YOPPY 氏	44名

(2)催し等

①わかやまこころのフェスタ2011

県民のこころの健康の保持増進と、こころの病を持つ人に対する正しい理解を広めることを目的に開催した（ふれあい人権フェスタと共催）。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成23年11月20日 ビッグホエール (和歌山市)	ステージイベント (1) 和歌山県精神保健福祉協会長表彰式 「ほっとする笑顔つながるこころの絵」表彰式 (2) 「グループ活動紹介」 出演 麦の郷 ソーシャルファームピネル 「クラウディハーツ」の皆さんによる演奏 (3) 講演会&うた 「いのちを語る！生きる つながる ささえあう」 講師 小西博之 氏・古家学 氏	8,300名

②「ほっとする 笑顔つながる こころの絵」

県民にこころがほっとする絵をはがき大から、八つ切り用紙の大きさまでに描いてもらい、こころの健康やゆとりのある生活を見つめなおしてもらい、機会を提供した。

応募総数97作品の中から8点を審査の結果、入賞作品として選び、「わかやまこころのフェスタ2011」で表彰した。

③精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会(和歌山県精神保健福祉協会主催)

精神障害者がスポーツを楽しむ体力の維持増進をはかることや、仲間とのふれあいを体験する等の社会参加を推進することを目的に実施した。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成23年10月31日 ビッグホエール (和歌山市)	県内9チームが参加し、優勝から4位チームまでを決定した。	選手・役員等 162名

④和歌山県精神保健福祉協会主催講演会

県民への精神保健福祉に関する知識の普及とこころの健康づくり推進のため、和歌山県精神保健福祉協主催で実施した。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成23年7月15日 ビッグ愛 (和歌山市)	講演会 ～こころの集い～ 映画上映「精神」	93名

(3)広報出版物等

①和歌山県精神保健福祉センター便り「わかやま」

関係機関への情報提供と県民への啓発のため、社会復帰施設等の紹介、県内の精神保健福祉の最新情報、和歌山県精神保健福祉センターの研修や講演会の案内等を掲載し、年4回発行した。

号 数	送付先機関	発行部数
第47号(5月)	184	430
第48号(8月)	184	430
第49号(11月)	191	430
第50号(2月)	192	430
合 計	751	1,720

②出版物等作成

内 容	部 数
和歌山県精神保健福祉センター所報	100冊

③精神保健福祉等に関する図書やビデオの貸し出しをおこなった。

④報道関係者への情報提供

事業項目	内容等	メディア名	月 日
災害時の こころのケア	・「こころのケアホットライン」設置	4紙和歌山版、 テレビ和歌山	平成23年9月
自殺対策	・命をまもるメッセージ	和歌山新報	平成24年2月18日
	・自殺対策強化月間	4紙和歌山版	平成23年9月
	・自殺対策強化月間	4紙和歌山版	平成24年3月
	・自殺対策強化月間街頭啓発	和歌山放送、 テレビ和歌山	平成24年3月
こころのフェスタ2011 小西博之氏講演		テレビ和歌山	平成23年12月6日

※自殺対策、ひきこもり、こころのレスキュー隊関連事業については、後章に掲載する。

4 その他の事業

セルフヘルプ交流会「なごみの会」

セルフヘルプグループの方々が発行していく上での悩みを分かち合い、情報交換することにより、県内にあるセルフヘルプグループの活性化を図ることを目的に開催した。

対 象 セルフヘルプグループの運営を行っている方
場 所 精神保健福祉センター グループセラピー室
開催回数 全6回
参加延数 20名（5グループ）

ひきこもり家族のつどい

ひきこもり者の家族同士が、わかちあいや情報交換の場を持ちながら、問題の解決に向けた自助機能を高めていくことを目的に全12回開催した。

対 象 ひきこもりの問題を抱える家族
場 所 精神保健福祉センター グループセラピー室
回 数 12回
参加者数 実人数15人（延べ64人）

ひきこもり青年のつどい及びフリースペース

ひきこもり者や、他者との関わりに不安を持つ方を対象に集まりの場所（居場所）を提供し、コミュニケーションや相談の場を設けて、ひきこもりからの回復につなげることを目的に開催した。

対 象 県内在住で概ね16歳から40歳までの方
場 所 精神保健福祉センター プレイルーム
内 容 トランプやウノ、パズルなどの室内ゲームや音楽鑑賞、映画鑑賞（DVD）、卓球、読書などを行った。
開催日 毎週火曜日 13:00～16:00
参加者数 実人数8人（延べ 55人）

5 自殺対策情報センター事業

(1)センターの概要

目的 自殺対策の総合的な支援機関として、自殺を考えている者、自殺未遂者及び自殺者の親族等に対する支援の充実を図るため、相談支援、関係機関との連携強化、普及啓発等の情報発信、専門研修による人材育成に取り組む。

開設日 平成21年9月7日

場所 精神保健福祉センター内

(2)平成23年度 事業実績

①自殺対策情報センターはあとライン(相談専用電話)の開設

②自殺対策啓発

・自殺対策講演会・自死遺族の交流会

開催日	場所	対象	参加者数
平成23年11月26日	ビッグ愛 (和歌山市)	「つながり支えあう社会に向かって」 講師 白浜レスキューネットワーク 代表 藤藪庸一氏	一般県民 25名
		(交流会) 内容 わかちあいの会	自死遺族 11名

・自殺対策講演会

開催日	場所	内容	参加者数
平成24年2月24日	ビッグ愛 (和歌山市)	講演会 「希望をつくる！」 講師 東京大学社会科学研究所 教授 玄田有史氏	一般県民 55名

・命をまもるメッセージ募集

県民から1820作品の応募があり、入選作品を審査により決定、啓発に活用

・ホームページ

自殺対策情報センターのホームページより、県民向けに自殺予防から遺族支援のための各種講演会、相談事業等についての情報を発信した。

・街頭啓発

自殺予防週間及び自殺対策強化月間における和歌山駅等での街頭啓発

・啓発物品作成

パンフレット(大切な人を自死でなくされた方へ、うつ病を知っていますか、こころの健康)、コットンバッグ、マグネットバー、啓発用のぼり

③人材育成(自殺対策研修)

対象 保健所及び市町村の精神保健福祉及び自殺対策関連課の職員、精神科医療機関、社会復帰施設、障害福祉サービス事業所職員 等

研修会

回数	場所	内容	参加者数
1回	ビッグ愛(和歌山市)	自殺対策研修(コミュニケーション研修)	34名
1回	ビッグ愛(和歌山市)	自殺対策従事者研修(自殺未遂者ケア研修)	24名
2回	橋本保健所(橋本市) 新宮保健所(新宮市)	多重債務対策研修	27名
1回	ビッグ愛(和歌山市)	高齢者の自殺予防	30名
1回	田辺市民総合センター (田辺市)	自死遺族支援研修	11名

・うつ病等対策

開催日	場所	内 容	参加者数
平成23年10月6日	ビッグ愛 (和歌山市)	「うつ病治療における認知行動療法」 講師 沖縄県立総合精神保健福祉センター 所長 仲本晴男 氏	65名

④地域ネットワークづくり(和歌山県自殺対策情報センター専門部会)

目 的 自殺対策について、関係機関が情報交換を行うと共に、連携の強化を図
ることで自殺予防から遺族支援までの体制を整え、自殺者の減少を図る。

構成機関 22機関

開催日	出席 委員数	内 容
平成23年6月23日	19名	平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画
平成23年1月24日	12名	自死遺族支援検討会、「命をまもるメッセージ」選考会
平成24年2月16日	14名	自殺未遂者検討会「命をまもるメッセージ」表彰式

⑤その他

・うつ病学習会

対 象 うつ病者の家族等

日程	場 所	内 容	参加者数
平成24年2月28日	ビッグ愛 (和歌山市)	「うつ病の理解と治療について～ 対応に悩む家族・友人・同僚のために」 講師 松本メンタルクリニック 院長(精神科医) 松本幸男 氏	39名
平成24年3月6日	Big・U (田辺市)	「うつ病の理解と治療について～ 対応に悩む家族・友人・同僚のために」 講師 湊・小川クリニック 院長(精神科医) 小川正明 氏	37名
平成24年3月7日	ビッグ愛 (和歌山市)	「うつ病の方への対応方法とストレス対処法」 講師 和歌山心療オフィス 所長(臨床心理士) 上野和久 氏	41名

・アルコール依存症学習会

対 象 アルコール依存症の家族等

日程	場 所	内 容	参加者数
平成24年2月20日	御坊保健所	「アルコール依存症と生活障がい」 講師 リカバリハウスいちご 所長 佐古恵利子 氏	11名
平成24年2月23日	プラザホープ (和歌山市)	「アルコール依存症と家族」 講師 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川京子 氏 断酒会	30名
平成24年3月14日	橋本保健所	「アルコール依存症の理解と治療」 講師 新生会病院 院長 和気浩三 氏	16名

・自死遺族支援

対 象 大切な人(家族・知人・友人)を自死で亡くした方

内 容	開催回数	参加者数
自死遺族相談(臨床心理士による個別相談) ※再掲	全24回	延57名
自死遺族のための分かちあいの会「うめの花」	全6回	延31名

6 ひきこもり地域支援センター事業

和歌山県ひきこもり地域支援センター

目的 地域のひきこもり支援の核となる支援機関として、保健所やひきこもり者社会参加支援センターと連携しながら、主として、関係機関との連携強化、ひきこもり支援に必要な情報発信、一次相談窓口の充実、人材育成を行う。

開設日 平成21年 8月 7日

場所 県精神保健福祉センター内

(1)関係機関との連携強化

- ①支援体制の充実を目的に各圏域ごとに保健所の担当者と協議のうえ、ひきこもりに関する事業説明、情報交換等を実施した。
- ②平成23年12月22日に、「ひきこもり支援連絡協議会」を開設。県内のひきこもり、教育、労働、医療、福祉保健等の関係機関から成る連絡協議会を設置し、ひきこもり者及びその家族への支援体制整備に向けた協議を行った。

(2)情報発信

- ①平成23年10月1日 ひきこもり専用電話 いっぱライン開設

対象	番号
ひきこもりの問題を抱えているご家族やご本人、関係者	073-424-1713 (平日9:00~17:45)

- ②ホームページ「和歌山県ひきこもり地域支援センター」の運営

(3)一次相談窓口

窓口周知、電話相談及び来所相談による相談対応（詳細は来所相談・電話相談集計参照）

(4)人材育成

研修会の開催

対象 ひきこもり支援従事者

（保健所及び市町村の担当職員、ひきこもり者社会参加支援センター職員等）

開催日・参加者数	テーマ・講師
平成24年2月9日 勤労福祉会館 プラザホープ (和歌山市) 参加者48名	「和歌山 仕事おこし 若者支援」 岐阜大学地域科学部 南出吉祥 氏 「和歌山からの実践報告」 ひきこもり支援サークルよりみち 代表 林 健一氏 NPO法人かたつむりの会 代表 河原 美和子 氏 コメンテーター 南出 吉祥 氏 コーディネーター 精神保健福祉センター所長 小野 善郎

(5) ひきこもり家族教室

対 象 ひきこもりの問題を抱える家族

開催場所 本年度については以下の4圏域で実施した。

【橋本保健所】

【湯浅保健所】

回	開催日	内 容	人数	回	開催日	内 容	人数
1	9/28 (水)	『相手も自分も楽になるコミュニケーション』 高野山大学文学部 臨床心理士 森崎雅好 氏	24名	1	8/18 (木)	『ひきこもりの理解』 精神保健福祉センター 所長 小野善郎	22名
2	11/2 (水)	『ひきこもりの理解と支援』 ひきこもり支援サークル よりみち 代表 林健一 氏 精神保健福祉センター 所長 小野善郎	15名	2	11/29 (火)	『社会参加への一歩に向けて』 南紀若者サポートステーション 訪問支援員 南 芳樹 氏 松井夕起 氏	14名
3	1/13 (金)	『家族の思い さまざまなステップ』 精神保健福祉センター職員	2名	3	12/9 (木)	『家族の思い さまざまなステップ』 精神保健福祉センター職員 助言者 所長 小野善郎	3名

【新宮保健所・串本支所】

【岩出保健所】

回	開催日	内 容	人数	回	開催日	内 容	人数
1	11/17 (木)	『ひきこもりの理解』 精神保健福祉センター 所長 小野善郎	4名	1	3/5 (月)	『当事者からのメッセージ』 ひきこもり経験者2名	8名
2	11/18 (金)		5名	2	3/14 (水)	『“ひきこもり”にとらわれないで』 精神保健福祉センター 所長 小野善郎	6名
3	12/7 (水)		7名				

(6) ひきこもり学習会

対 象 保健師、教員、地域住民等ひきこもりに関心のある方

開催場所 御坊保健所

開催日	内 容	参加者数
平成24年3月7日	「若者を地行きにつなぐ支援～本人や家族へのアプローチ」 講師 南紀若者サポートステーション 訪問支援員 南芳樹氏 精神保健福祉センター 所長 小野善郎	9名

(7) その他

① 「全国ひきこもり地域支援センター連絡協議会」の事務局を担う。

② 県内外の行政機関や団体等のニーズに応じて研修会や講演会の講師を担う(別紙参照)。

7 こころのレスキュー隊事業

1) 和歌山県こころのレスキュー隊隊員構成

表 隊員構成(平成24年3月31日現在)

職 種		(内 訳)	
医師	4人	精神保健福祉センター職員	(3人)
臨床心理士	6人	センター以外の県職員	(15人)
精神保健福祉士	14人	上記以外の公務員*	(4人)
保健師	3人	その他(民間職員等)	(13人)
看護師	5人	指揮担当	(9人)
その他	3人	直接ケア担当	(20人)
計	35人	補助業務担当	(6人)

() は内数、* 国立、市町村、独立行政法人など

2) CRT派遣業務

出動実績

平成23年度は、前年度に引き続きCRTの出動はなかった。

表 平成23年度までのCRT出動実績(平成24年3月31日現在)

回	年度	事件・事故の概要	派遣先	日数	延べ人数(実人数)
1	H 19	自宅で児童、母親、祖父が殺害される。(Ⅲ弱)	小学校	2日	16人(10人)
2	H 19	校外で生徒が自殺 (Ⅱ)	高校	3日	23人(11人)
3	H 20	校外での同学年生徒による殺人未遂※ (Ⅲ強)	中学校	3日	26人(14人)
4	H 20	校外で生徒が列車にはねられ死亡 (Ⅱ)	高校	3日	29人(13人)
5	H 20	自宅で児童、祖母が殺害される。(Ⅲ弱)	小学校	3日	35人(17人)
6	H 21	寄宿舎で生徒が水死 (Ⅱ)	特別支援学校	3日	19人(10人)

(全6回)

※第3回は、県外隊員1人を含む。

3) CRT研修会

CRT隊員養成 基礎研修会

目的 「こころの緊急支援活動」に要する基本的知識の習得、協力機関への啓発

対象 看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士、教員、等

開催日	テーマ・講師	参加者数
平成23年8月3日 (和歌山ビッグ愛)	「こころのレスキュー隊事業説明」 精神保健福祉センター 副主査 北川 朋子 「二次受傷とストレスマネジメント」 県臨床心理士会副会長 上野 和久	43名

CRT隊員研修会

目的 支援技術の維持・向上のためのフォローアップ

対象 CRT隊員、教職員他

開催日	テーマ・講師	参加者数
平成23年12月19日 (和歌山ビッグ愛)	図上演習「子どもの自殺への対応～リスク評価と対応」 山口県精神保健福祉センター 所長 河野通英	22名

4) 全国CRT連絡協議会(第6回)への参加

平成23年8月29(月)、30日(火)の2日間にわたり、石川県金沢市において開催された第6回全国CRT連絡協議会に出席し、情報交換会等を行った。

8 災害時のこころのケア活動(精神保健福祉センター) 事業

【東日本大震災における主な対応】

こころのケア活動

4月27日(水) ～4月30日(土)	東日本大震災における被災地(岩手県釜石市)における心のケア活動(所長)
9月6日(火) ～9月8日(木)	東日本大震災後の子どもの心のケア対応(宮城県仙台市)(所長)

研修会講師等

平成24年 1月23日(月)	平成23年度宮城県自殺対策シンポジウム「震災と若者のこころの健康～思春期をのりこえるために～」(宮城県精神保健福祉センター主催)にコーディネーターとして出席(所長)
3月7日(水)	東日本大震災心のケア活動に係る意見交換会(災害時こころの情報支援センター主催)出席(所長)

【台風12号における主な対応】

こころのケア活動

平成23年 9月6日(火)	精神保健福祉センター内に「こころのケアホットライン」を設置(～12/28) 災害時における心のケアに関する資料を作成、HPに掲載。 保健所等、各被災者支援関係機関に配布。
9月15日(木)	こころのケア体制整備に係る情報収集のため、被災地を訪問、状況確認。(所長、精神保健福祉センター職員)
9月21日(水) 9月22日(木)	東牟婁圏域における被災地(グリーンピア南紀、那智中学校、那智勝浦町役場)において、現地支援者とともに、被災者のこころのケア対応を実施。(所長、精神保健福祉センター職員)
9月30日(金)	西牟婁圏域における被災地(伏菟野)において、現地支援者とともに被災者のこころのケア対応を実施。(所長)
10月28日(金) 10月29日(土)	東牟婁圏域における被災地(グリーンピア南紀等)において、現地支援者とともに、被災者のこころのケア対応を実施。(所長)
11月17日(木)	那智勝浦町において現地支援者とともに、被災者のこころのケア対応を実施。(所長)
平成24年 4月11日(水)	那智勝浦町において、被災者の訪問支援及び現地保健師等への協力(所長)。

研修会講師等

平成23年 11月18日(火)	東牟婁管内における保健師の研修会において、台風12号におけるこころのケアのあり方について講義。(所長)
平成24年 2月14日(木)	新宮保健所、那智勝浦町役場において、台風12号におけるこころのケアについて、保健所及び役場職員に助言指導を実施。(所長)
2月27日(水)	田辺保健所管内保健師等30名に対し、「災害時の心のケア」について講義、現地の実践報告とともに協議を行う。(所長)

9 精神保健福祉相談

県民のこころの悩みや精神疾患等に関する健康相談を電話及び面接により実施した。所内相談は、原則として予約制で実施している。電話相談は一般回線とこころの電話専用回線とで受けている。さらに特定相として、嘱託医による思春期・青年期相談、臨床心理士による自死遺族相談を実施している。

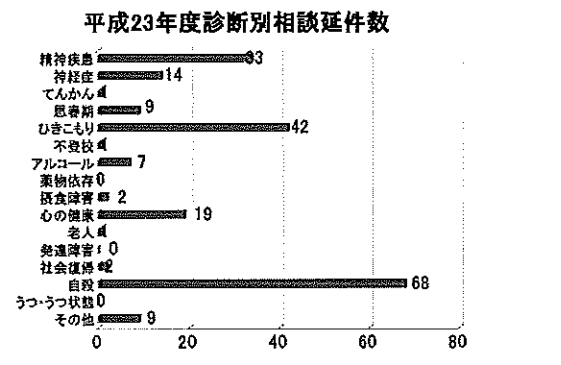
		延件数
所内相談(面接)		209
電話相談	一般	403
	こころの電話	1,185
	はあとライン	68
	いっぽライン	11
	退院請求等	187
計		2,063

(所内相談)

年齢別相談件数 延件数…()内は実数

年齢	男性	女性	合計
0～9	0(0)	0(0)	0(0)
10代	10(7)	3(2)	13(9)
20代	59(14)	23(11)	83(26)
30代	10(10)	12(11)	22(21)
40代	19(10)	24(11)	43(21)
50代	3(3)	20(7)	23(10)
60代	0(0)	1(1)	1(1)
70以上	1(1)	2(2)	3(3)
不明	9(7)	12(2)	21(9)
合計	111(52)	97(47)	208(99)

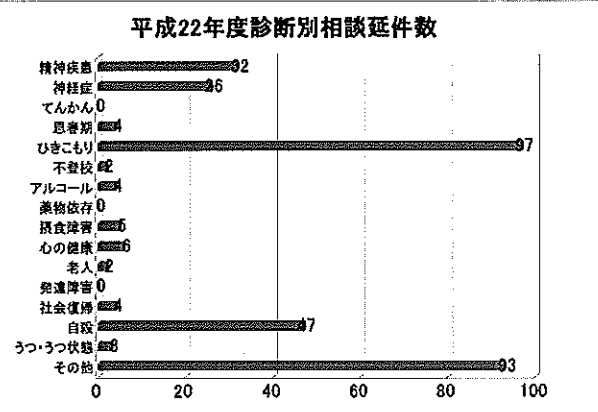
※性別不明1名



診断別相談件数

	男性	女性	合計
精神疾患	19(8)	14(13)	33(21)
神経症	14(1)	0(0)	14(1)
てんかん	1(1)	0(0)	1(1)
思春期	7(5)	2(2)	9(7)
ひきこもり	34(9)	8(7)	42(16)
不登校	1(1)	0(0)	1(1)
アルコール	4(3)	3(2)	7(5)
薬物依存	0(0)	0(0)	0(0)
摂食障害	1(1)	1(1)	2(2)
心の健康づくり	12(10)	7(7)	19(17)
老人	0(0)	1(1)	1(1)
発達障害	0(0)	0(0)	0(0)
社会復帰	1(1)	1(1)	2(2)
自殺	12(7)	56(9)	68(16)
うつ・うつ状態	0(0)	0(0)	0(0)
その他	5(4)	4(4)	9(8)
合計	111(51)	97(47)	208(98)

※不明:精神疾患1名あり



(電話相談)

年代別男女延件数

年代	男性	女性	不明	計
児童	4	5	2	11
思春期	23	15	5	43
成人	662	697	11	1,370
老人	151	47	0	198
乳幼児	1	0	2	3
不明	13	18	11	42
総合計	854	782	31	1,667

保健所管内別延件数

保健所別	男性	女性	不明	計
伊都 (橋本)	17	15	1	33
那賀 (岩出)	13	19	0	32
海草 (海南)	11	9	0	20
有田 (湯浅)	95	12	0	107
日高 (御坊)	19	12	1	32
西牟婁 (田辺)	31	7	1	39
東牟婁 (串本)	4	11	0	15
(新宮)	10	39	0	49
和歌山	386	202	5	593
県内	156	289	13	458
県外	13	11	1	25
不明	99	156	9	264
総合計	854	782	31	1,667

相談内容内容別男女延件数(重複あり)

相談内容	男性	女性	不明	計
統合失調症に関する事	239	102	0	341
感情障害に関する事	55	147	1	203
その他の精神疾患に関する事	51	59	1	111
治療について	83	114	6	203
就労について	69	25	0	94
社会復帰施設	8	6	1	15
制度について	19	25	2	46
知的・発育上の問題	10	10	3	23
教育上の問題	7	3	3	13
ひきこもり	36	16	1	53
人間関係の問題	75	168	1	244
その他の性格、行動上の問題	52	27	2	81
身体上の問題	27	31	0	58
結婚、性に関する問題	21	26	1	48
アルコール	22	14	0	36
薬物中毒の問題	2	4	0	6
ギャンブルの問題	3	0	0	3
摂食障害	0	6	0	6
老人の問題	20	16	0	36
患者(対象者)へのかかわり方	26	29	2	57
自殺	56	85	1	142
その他	250	191	19	460
不明	0	0	0	0
合計	1,131	1,104	44	2,279

処遇状況(重複あり)

処遇	男性	女性	不明	計
電話カウンセリング、助言	786	726	20	1,532
来所相談を勧める	9	9	1	19
情報提供、紹介	81	79	18	178
かけ直し依頼	1	2	0	3
その他	22	13	2	37
総合計	899	829	41	1,769

10 医療・福祉関係事務

精神保健福祉法第12条の規程に基づいて、和歌山県精神医療審査会は、精神障害者の人権擁護とその適正な医療及び保護を図るために設置されている。平成23年度の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他審査に関する事務に対する審査状況は表1の通りである。

また、精神保健福祉法第45条第1項の規程による精神障害者保健福祉手帳の申請に係る診断書の判定業務を行った。平成23年度の判定実績は、表2及び表3の通りである。

自立支援医療（精神通院）の申請に係る診断書の判定を行った。受給者証交付状況は表4に示す。

(表1)精神医療審査会の審査に関する事務

区 分	届出等の 件数	審査 件数	審 査 結 果					取 下 げ	退院等 審査 要件の 消失	審査中	未審査
			入院等 は 適当	他の入院 形態 への移 行が 適当	入院継 続 不 要	入院又 は 処遇は 不 適 当	計				
医療保護入院の届出 (法第33条第1 項)	812	812	812	0	0	0	812	0	0	0	0
定期の 病状 報告書	措置入院者	3	3	3	0	0	0	3	0	0	0
	医療保護 入院者	522	522	522	0	0	0	522	0	0	0
退院の 請求	措置入院者	() 1	() 1	() 1	() 0	() 0	() 0	() 1	() 0	() 0	() 0
	医療保護 入院者	(2) 19	() 17	() 12	() 0	() 0	() 0	() 12	(1) 5	(1) 1	() 0
処遇改善 請求	措置入院者	() 1	() 1	() 0	() 0	() 0	() 1	() 1	() 0	() 0	() 0
	医療保護 入院者	(1) 2	() 1	() 1	() 0	() 0	() 0	() 1	() 0	(1) 1	() 0
計	1315	1307	1306	0	0	1	1307	5	2	0	1

(表2)

精神障害者保健福祉手帳保持者数(平成24年3月31日現在)

	1級	2級	3級	計
和歌山市	204	930	491	1,625
海南	86	259	157	502
海南市	74	219	142	435
紀美野町	12	40	15	67
岩出	74	266	117	457
紀の川市	39	149	58	246
岩出市	35	117	59	211
橋本	46	258	126	430
橋本市	34	189	111	334
かつらぎ町	9	52	11	72
九度山町		12	2	14
高野町	3	5	2	10
湯浅	33	192	78	303
有田市	16	70	35	121
湯浅町	1	45	20	66
広川町	5	17	4	26
有田川町	11	60	19	90
御坊	34	180	99	313
御坊市	14	80	43	137
美浜町		24	11	35
日高町	3	14	10	27
由良町	4	14	9	27
印南町	2	15	8	25
日高川町	11	33	18	62
田辺	65	353	349	767
田辺市	45	177	218	440
みなべ町	2	46	45	93
白浜町	10	81	40	131
上富田町	5	35	33	73
すさみ町	3	14	13	30
串本	32	125	78	235
古座川町	6	18	4	28
串本町	26	107	74	207
新宮	39	246	133	418
新宮市	26	160	100	286
那智勝浦町	10	73	24	107
太地町	3	8	9	20
北山村		5		5
県内合計	613	2,809	1,628	5,050

(表3)

精神障害者手帳交付者数(平成23年度分)

	前年度末現在	新規交付 (年度中)	転入 (年度中)	転出 (年度中)	返還 (年度中)
1級	550	58	1	1	69
2級	2,208	302	27	1	159
3級	1,523	280	11	5	146
計	4,281	640	39	7	374
	障害の等級の変更 (年度中)		年度末現在		認定更新 (年度中)
	増	減	有効期限切れ (再掲)		
1級	53	22	570		25
2級	228	87	2,518		102
3級	43	215	1,491		43
計	324	324	4,579		170

(表4)自立支援医療(精神通院)受給者証交付状況

保健所名	市町村名	症状性を含む器質性精神障害	中毒性精神障害	統合失調症圏	気分障害	神経症性障害	生理的要因	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞	心理的発達の障害	児童・思春期精神障害	てんかん	その他の精神障害	分類不明	計
和歌山市		66	71	1,247	1,034	308	7	31	14	80	31	420			3,309
海南		21	10	254	142	34		3	7	12	10	101			594
	海南市	18	8	216	124	30		2	6	12	10	89			515
	紀美野町	3	2	38	18	4		1	1			12			79
岩出		19	14	286	220	53	3	6	2	3	4	72			682
	紀の川市	9	8	174	116	29	1	4	2	2	1	36			382
	岩出市	10	6	112	104	24	2	2		1	3	36			300
橋本		39	35	434	272	36	3	19	14	10	5	101			968
	橋本市	33	29	329	206	27	1	12	13	7	4	81			742
	かつらぎ町	2	5	72	45	5	2	3	1	3	1	11			150
	九度山町	3	1	21	14	4		3				6			52
	高野町	1		12	7			1				3			24
湯浅		8	14	338	195	48	1	3	17	6	1	81			712
	有田市	3	5	129	69	21		1	6	4		36			274
	湯浅町		1	60	56	11	1	1	1	1	1	18			151
	広川町	3	3	42	13	3			1			3			68
	有田川町	2	5	107	57	13		1	9	1		24			219
御坊		16	20	375	224	42	4	2	11	4	6	51			755
	御坊市	3	6	150	94	19	2		5	4	6	20			309
	美浜町	4	4	41	27	1	1		3			4			85
	日高町	3	3	34	28	6		1				4			79
	由良町	2	2	51	23	7	1	1	2			8			97
	印南町	1	3	34	25	3			1			6			73
	日高川町	3	2	65	27	6						9			112
田辺		58	29	730	408	125	7	8	39	76	50	177			1,707
	田辺市	33	14	447	235	77	4	7	17	43	38	112			1,027
	みなべ町	1	4	68	51	8	1		3	7	2	10			155
	白浜町	19	5	129	82	23		1	9	5	6	33			312
	上富田町	3	5	59	29	12	2		9	20	2	19			160
	すさみ町	2	1	27	11	5			1	1	2	3			53
串本		2	5	141	42	33	2	3	2	3	2	14			249
	古座川町		1	12	7	1				1					22
	串本町	2	4	129	35	32	2	3	2	2	2	14			227
新宮		19	7	297	124	28	2	4	10	10	6	36			543
	新宮市	14	5	192	81	17	1	2	10	8	4	17			351
	那智勝浦町	4	2	81	30	8	1	2		2	1	14			145
	太地町	1		16	13	3					1	3			37
	北山村			8								2			10
合計		248	205	4,102	2,661	707	29	79	116	204	115	1,053			9,519

Ⅲ 資 料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧

平成24年6月1日現在

団体名	①入院医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は団地等駐車場利用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成	⑨公営体育施設・文化施設等利用料金の減免	⑩その他
和歌山県					障害者住宅推進2回(半年者) 入居時特設基準を超過措置 (収入月額158,000円以下) とし、収入額を4,000円以下) 【手帳所持者】	障害者住宅使用料金の減免 (県立区大府属病院に免除する場合は全額免除) 【手帳所持者】	障害者住宅使用料金の減免 (県立区大府属病院に免除する場合は全額免除) 【手帳所持者】	県立体育施設・文化施設等利用料金の減免	県立体育施設・文化施設等利用料金の減免	⑩その他
和歌山市保健所					市営住宅推進2回 【手帳1・2級】	市営バス乗降及び団地等駐車場利用料金の減免 (手帳所持者が運転または同乗の場合) 【手帳所持者】	福祉センター事業 (福祉センター) 1回500円割引 (手帳1・2級)	全額免除: ほうらい班、市立博物館、市立こども科、市立図書館、市民通水プール、市民センター、市民ホール広場、市民会館、河内総合体育館、市民体育館、松下体育館、真公園体育館、市民球場	障害児者外出支援事業 (市内を通行する和歌山八ヶ、和歌山八ヶ那須が月2回無料、市内の公衆浴場が1回100円、月2回利用可能) 【手帳所持者】	
和歌山市										
和歌山県保健所	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【手帳所持者】	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【手帳所持者】	施設通所交通費助成 (通所距離が20mを超え徒歩が利用する者) に対し、交通費の半額を助成。(上限2,500円/月) 【施設通所者】	心身障害者福祉年金 (20歳未満の障害児を監護する者) 年額48,000円 (20才未満の手帳所持者を監護する者) 【手帳1・2級】						高齢者アセスメント(65歳以上の人を対象としているが手帳所持者であれば65歳以下でも利用可能) ・海軍、海軍地方精神障害者救済会への助成
和歌山市	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【手帳所持者】	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【手帳所持者】						福祉センター利用券交付 (福祉センター) 年間12枚 (所持制限あり) 【手帳1・2級】	和歌山市スポーツ施設(プール、体育館、運動場、テニスコート)利用料無料 【手帳所持者】	和歌山市スポーツ施設(プール、体育館、運動場、テニスコート)利用料無料 【手帳所持者】
紀美野町	紀美野町重度心身障害者医療費助成制度 (負担分を助成) 【手帳1・2級】	紀美野町重度心身障害者医療費助成制度 (負担分を助成) 【手帳1・2級】						タクシー乗車料金 助成 (年間12回) 【手帳1・2級】	美丘の湯「かじか荘」入浴料金400円~300円 (介護者1名可) 【手帳所持者】	和歌山県・和歌山地区精神障害者救済会「紙ふうせん」への助成
岩出市保健所	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【障害年金1・2級】	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【障害年金1・2級】		手帳所持者の単身入居可 (入居申請時に2回抽選資格あり) 家賃減免措置 【手帳所持者】				和歌山市福祉センター及び自働車燃料券助成 (手帳1・2級)	総合体育館 使用量の免除 (岩出市在住の者、在勤の者に限る)	紀の川市重度心身障害者福祉手当 (手帳1・2級)
紀の川市	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【障害年金1・2級】	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【障害年金1・2級】						和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	岩出市温水プール (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】
岩出市	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【障害年金1・2級】	重度心身障害者(者)医療費助成制度 (所得制限あり) 【障害年金1・2級】						岩出市温水プール (利用料の5割減額) 【心身障害者】	岩出市温水プール (利用料の5割減額) 【心身障害者】	岩出市温水プール (利用料の5割減額) 【心身障害者】
和歌山県保健所								和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】
和歌山県								和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】
かつらぎ町								和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】
九度山町								和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】
高野町								和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】	和歌山県福祉センター (利用料の5割減額) 【心身障害者】

団体名	①入浴医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所療養の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金等一時金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は駐輪場等使用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成(③以外)	⑨公営体育施設・文化施設等使用料金の減免	⑩その他
湯浅保健所										
有田市			公共交通機関の料金のみ半額を助成。(上限月2,500円) 【手帳所持者】(自立支援医療受給者証所持者)					タクシー基本料金相当分(年間28回以内) 【手帳1級】	市民税非課税世帯 水道料金の軽減 【手帳1・2級】 精神障害者家族会への補助金 25,000円 精神障害者家族会への助成 25,000円/年	
湯浅町										
庄川町										
有田川町			要綱に定める施設に交通手段を利用して通所する在宅の障害者に交通費を助成する	有田川町重信心身障害者(児)福祉手当として年額10,000円を支給 (施設入所等は非該当) 【手帳1級】	親身入居申込み可能とし、家賃決定基準の上限を198,000円から214,000円としている。 【手帳所持者】			有田川町がなや明彦温泉使用料 一人(4歳以上~小学生以下)300円 小人(4歳以下)200円 回教券(12回教券)大人3,000円/小人2,000円 (9回教券)大人1,500円/小人1,000円 【手帳所持者】		
御坊保健所										
御坊市		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)の1/2を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	作業所への通所の際、公共交通機関を利用する場合、月12,000円を限度に補助【手帳所持者・障害年金受給者・自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】							
美深町		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)の1/2を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所に係る費用の1/2を1万円を限度に助成(2割を超える場合は施設施設等の通所者) 【施設施設等の通所者】	・扶養手当 月5,000円(在宅)月4,000円(施設) 【20歳未満の手帳所持者】 ・障害者福祉手当 月2,000円(在宅)所得制限者【20歳以上の手帳所持者】				バス及びタクシーの料金の助成 美深町外出支援事業として年間12,000分の100円券を発行。 【手帳所持者】		
日高町		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	福祉共同作業所への通所(公共交通機関の利用に限る)通所経費の1/2、月額10,000円以内。 【在宅障害児者で手帳所持者】	月額4,000円を支給 (若)に知しては所得制限あり 【(若)手帳1・2級】 【(若)手帳所持者】				タクシー利用1回につき初乗り温泉料の半額(600円~510円) 使用料の一部減免 【手帳所持者】		
白良町				月額3,000円 収入要件有り 【手帳所持者】						
日高川町		自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所に係る経費の1/2を支給する。(上限1万円) 【手帳所持者】	月額3,000円を支給 (18歳以上は年収120万円未満の者に限る) 【手帳所持者】				日高川町コミュニティバス乗車料金半額 【手帳所持者】	町内温泉施設(薬山温泉 薬師荘・きのくに中津 荘・鳴湯温泉)入浴料半額 【手帳所持者】 かわべ天文公園(入場料半額/介助者も可)【手帳所持者】	
印旛町			公共交通機関の料金の半額を助成 【手帳所持者】							
田辺保健所										
田辺市	自立支援医療費(精神通院)の自己負担分を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	自立支援医療費(精神通院)の自己負担分(1割)の1/2を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	障害支援施設に通所する障害者に障害者福祉金(2割)を支給する。 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	手帳1級(20歳未満は手帳所持者)の若で、市民税非課税の者に年額28,500円を支給。 【手帳1級】	・入居抽選の際、抽選番号を2つ持つことができる。 ・入居所料減額を確保措置 収入月額98,000円以下のものに年額198,000円以下を支給 【手帳1・2級】			自動車料の減免を受けていない者にタクシー券500円×20枚を支給 【手帳1級】	田辺市立美術館・紀州備前長成発見館入館料1/2減免 【手帳所持者】	工賃が5,000円以下は利用者定率負担額を、工賃が5,000円を超える場合は工賃5,000円を超える部分の1/2に相当する金額を利用者定率負担額から差し引いた額を助成(就労支援通所者)

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧

平成24年6月1日現在

団体名	①こころの相談事業	②デイケア事業	③その他 3障害合同の事業等
和歌山県	各保健所単位・精神保健福祉センターで実施	各保健所単位で実施(海南保健所除く)	
和歌山市	月3回実施 (第1水曜日、第2金曜日、第4金曜日) 担当：医師 精神保健福祉相談員	月2回実施 (第1第3木曜日) (9時30分-12時) 担当：精神保健福祉相談員	地域生活支援ルーム(常設 月～金) 和歌山市精神障害者スポーツ大会(年1回) 和歌山市精神保健福祉市民講座(年1回) 家族教室(年10回) 相談(随時) 担当：精神保健福祉相談員
海南市			
紀美野町			相談支援事業 担当：精神保健福祉士 第1火曜日(巡回相談日)及び 随時
紀の川市			・相談支援事業 随時 担当：精神保健福祉士 ・障害者就労支援 ・施設等利用者負担助成事業
岩出市			
橋本市			
かつらぎ町			
九度山町			
高野町	随時 担当：保健師		
有田市			家族会の開催(当事者も参加) 月1回 担当：保健師
湯浅町		月1回 担当：保健師・精神福祉相談員・相談支援専門員 (広川町・湯浅保健所と合同実施)	
広川町		月1回 担当：保健師・精神福祉相談員・相談支援専門員 (湯浅町・湯浅保健所と合同実施)	
有田川町	月1回実施(月) 担当：県立こころの医療センター医師	月2回実施 担当：保健師	年1～2回(予定) 担当：家族会・保健師
御坊市			
美浜町			
日高町			
由良町			
日高川町		隔月実施 担当：保健師・栄養士	
印南町		休止中	
田辺市			
みなべ町			
白浜町	週4回 担当：白浜はまゆう病院 心理相談室職員 (県自殺対策緊急強化基本事業)	月1回実施 担当：白浜町保健師	
上富田町			
すさみ町			
串本町			
古座川町			
新宮市			
那智勝浦町	年6回実施 担当：精神科医師 保健師	月1回実施 担当：保健師 精神保健福祉士	
太地町			
北山村			

和歌山県精神保健福祉センター所報

— 平成23年度 —

(平成24年12月発行)

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

TEL 073-435-5194 FAX 073-435-5193

ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/index1.html>